

@ ゲームの準備:

- カードすべてをよく混ぜ、出来るだけ同じ枚数になるように各プレイヤーに配ります。
- 各プレイヤーは配られたカードを1つの山にして自分の前に（一番上のカードは全員が確認できるように）置きます。
- 最もカラフルな服を身に着けたプレイヤーが先手になります。

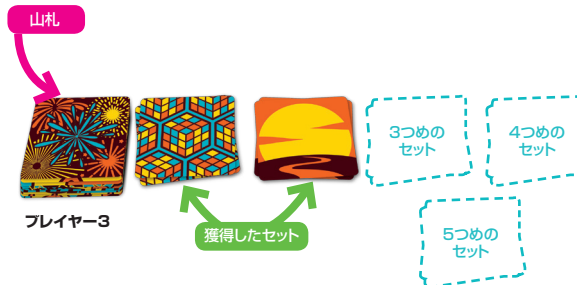
@ ゲームのプレイ:

先手プレイヤーから時計回り順に手番をプレイします。手番プレイヤーは自分の前の山の一番上のカードをめくり（このとき自分だけ先に見ないように、自分と反対側の方からめくこと）、テーブル中央のスペースに置きます。

同じ絵柄のカードのペアを見つけたプレイヤーは、その時点で**2枚それぞれのカード**の上に自分の手（または指）を置き、そのセットを獲得します。これは早い者勝ちです。

獲得したカードのセットは、自分の山札の横に、全員に見えるように置きます。

いずれかのプレイヤーがセットを獲得したら、そのプレイヤーが自分の山札をめくってゲームを再開します。



各セットは、以下にある見えているカードの組合せになります。

- ・テーブル上のスペースに置いたカード
- ・各プレイヤーの山札の一番上のカード
- ・各プレイヤーが獲得した山札の横のセットのカード

👉 強奪:

3枚目の同じ絵柄が出てくる場合があります。3枚目が出てきた場合、3枚目のカードとすでに誰かが獲得した同じ絵柄のセットの両方に手を置くことで、その3枚すべてを1つのセットとして獲得できます。他のプレイヤーがすでに獲得したセットであれば、強奪になります。

👉 連鎖:

誰かの山札の一番上のカードとのセットを獲得したとき、山札の次のカードとすでに見えているカードとの間でペアができることがあります。これが連鎖です。連鎖になったときは、最後にセットを獲得したプレイヤーが自分の山札をめくってゲームを再開してください。

👉 同時の場合:

- 2人のプレイヤーがペアの片方のカードにそれぞれ手を置いた場合、3つ数えて、同時にペアの両方のカードを裏返します。
- どちらかのカードが山札の場合、そのカードは裏返してテーブル上のスペースに置きます。
- どちらかのカードが誰かが獲得したセットの場合、スペースのカードまたは山札の上のカードだけを裏返します。
- これにより連鎖が起こることもあります。

- 2人のプレイヤーがペアの同じカードに手を置いた場合、下になっている方を優先します。

👉 お手付き:

ペアになっていないカードの両方に手を置いてしまったプレイヤーは、ペナルティとしてすでに獲得したセット1つを失い（セット1つを選び、自分の山札の一番下に置く）、そのプレイヤーからゲームを再開します。（獲得セットが1つもない場合は、ペナルティはありません。）

👉 3枚同時:

めったにありませんが、同じ絵柄のカード3枚が同時に出現した場合、その中の2枚に手を置いたプレイヤーがペアのセットを獲得し、残った1枚は裏返しにします。誰もその2枚に手を置かなかった場合は、3枚とも裏返します。

@ ゲームの終了:

いずれかのプレイヤーが**5つ目のセット**を獲得したら、その時点でそのプレイヤーの勝利となり、ゲーム終了です！
セットとは、同じ絵柄のカード2枚または3枚の組合せであることを忘れないように。

@ 禁じられた絵柄ルール:

連続してゲームをプレイするとき、前のゲームで勝利したプレイヤーは異なる絵柄のカード3枚を取り、自分の山札の隣に並べます。このプレイヤーは、並べた3枚の絵柄のペアを獲得することができません。もしペアを見つけて触った場合はお手付きとみなします。しかし、他のプレイヤーはこの3枚とのペアを獲得することはでき、獲得されることで前回の勝者は「禁じられた絵柄」から解放されていきます。

★ どのカードがどのゲームがわかるかな? ★

ツインイット! : ゲーマーズエディションでは
119種類の有名なボードゲームが
カードにデザインされています。
正解は以下のウェブサイトで!

www.cocktailgames.com/jeu/twin-it-jeux



あなたは世界中の数々のゲーム賞を受賞した
ツインイット!のオリジナルゲームをご存知ですか?



8



2 チームモード: 団体戦 4~6人用

2つのチームに分かれ、向かい合わせに着席します。ゲームのルールは基本的には競技モード同じですが、ペアを見つけたとき、自分では1枚しか手を置くことができず、もう1枚はチームメイトが手を置かなければそのセットを獲得できません。

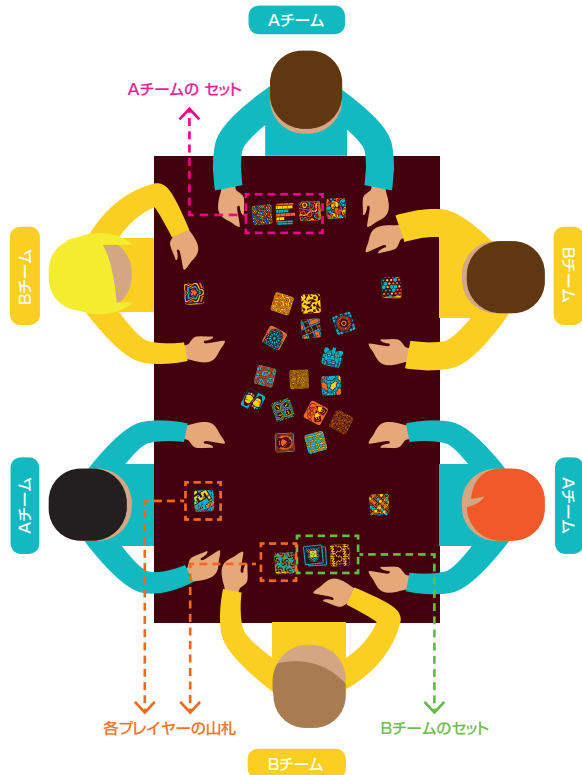
—1人がペアの両方のカードに手を置いた場合、「お手付き」とみなします。
—敵対するチームメンバー同士が1枚ずつ同時に手を置いた場合、「同時の場合」を適用します。

ゲームの中断後は、どのプレイヤーからでもゲームを再開できます。

チームの人数に差がある場合、人数の多いチームに「禁じられた絵柄」ルールを適用します(競技モードの最後の項を参照)。

先に5セットを獲得したチームが勝利し、その時点でゲーム終了です。

9



10

3 協力モード: 全員一緒 1~6人用

このモードでは、時間が重要な要素になります。タイマーを1分にセットします。カードをよく混ぜ(複数回シャッフルしてください)、1つの山札にしてテーブルに置きます。

「用意、スタート」でタイマーをスタートさせます。カードをテーブル上に広げ、全員同時にできるかぎり多くのペアや3枚組を時間の許すかぎり見つけます。プレイヤー同士の相談は可能で、好きなだけカードの場所を移動させたり裏返したりできます。

1分経過した時点で、獲得したペアや3枚組のセットの数を数え、全員の点数を合計します。ペアは1セットにつき1点、3枚組は1セットにつき2点になります。得点別の評価は12ページの表を参照してください。

@ 競争バージョン:

この協力モードのルールでプレイをし、制限時間内で獲得した得点を競います。合計得点の多いプレイヤー(チーム)が勝者です。ただし、対戦相手のセットを盗むことはできません。



11



プレイヤー数	合計得点					
	1人	2人	3人	4人	5人	6人
4点以下	10点以上	7・9点	5・6点	4点以下	初級: さらなる精進が必要ですよ。	
9点以下	18点以上	13・17点	10・12点	9点以下	中級: 順調に上進しています!	
14点以下	27点以上	19・26点	15・18点	14点以下	上級: よくできた。観察力が素晴らしい!	
19点以下	36点以上	25・35点	20・24点	19点以下	天才級: このパフォーマンスは絶賛に値する!	
24点以下	45点以上	31・44点	25・30点	24点以下		
29点以下	54点以上	37・53点	30・36点	29点以下		

12



ゲームデザイン: Nathalie Saunier, Rémi Saunier, Tom Vuarchex
グラフィックデザイン: Tom Vuarchex
2-6人用、対象年齢6歳以上

@ 内容物:

- 両面に絵柄が表示されたカード135枚(ほとんどの絵柄は同じものが2枚ずつ、中には3枚あるものや1枚だけのものもあります)
- ゲームのルール1部



1 競技モード: 個人戦 2~6人用

@ ゲームの目的:

セット(各セットは特定のカード2または3枚で構成される)を5つ作ることです。

1